

日本の
家を
100%
耐震に。

耐震住宅100%実行委員会 活動と収支報告

耐震住宅100%実行委員会
事務局 松延隆行

耐震住宅100%

2014年9月22日(東京)

2015年9月1日(大阪)



1. 清水次郎長生家改修工事のご報告
2. 収支報告
3. 法人化へのご提案

1. 清水次郎長生家改修工事のご報告





次郎長生家耐震改修・修繕工事

外観イメージ画 2015・12・17

有限会社マルワ建工一級建築士事務所 伊藤貴広

※イメージ画の無断複製・転用を禁じます。





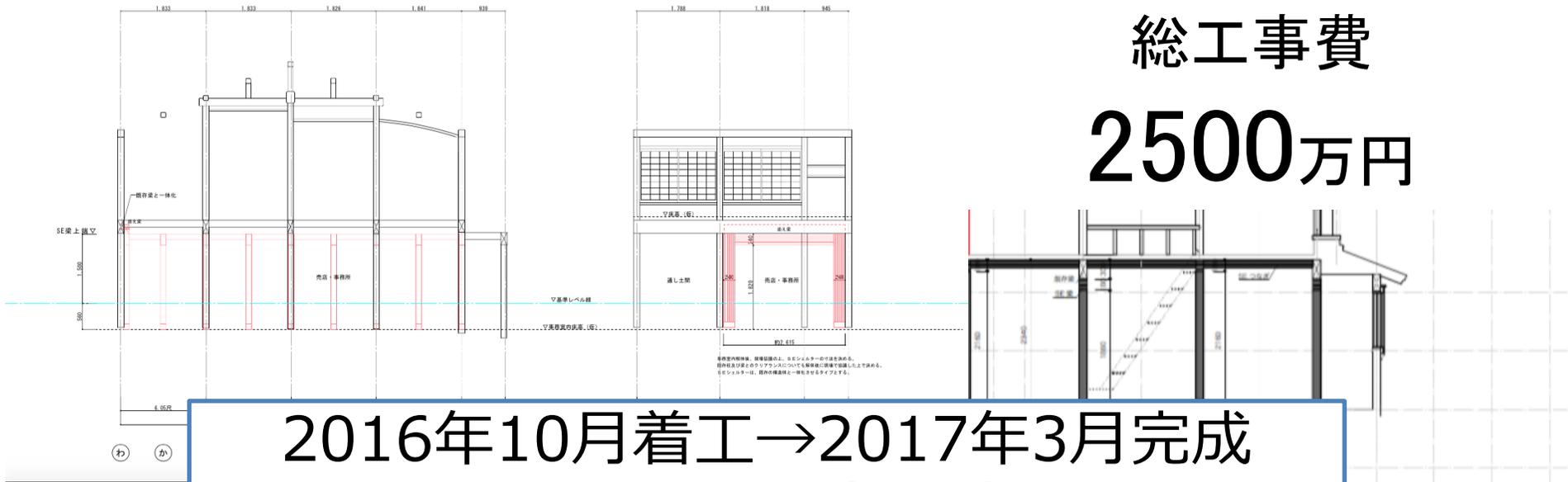
次郎長生家耐震改修・修繕工事

SE構造を活用した耐震改修 内装イメージ画 2015・12・17

有限会社マルワ建一級建築士事務所 伊藤貴広

※イメージ画の無断複製・転用を禁じます。

総工事費
2500万円



2016年10月着工→2017年3月完成
文化財指定（予定）



改修工事内容の検討と
文化財登録審査により着工遅延

伝統構法であったため、NCNだけでなく、 JASQA関西支部に客観的な視点で構造設計をレビュー。

木造建物の耐震設計レビュー結果報告

(社) 日本建築構造技術者協会関西支部

下記の木造建物の耐震設計につきレビューを行った結果、下記の内容を報告します。

建物名称：清水次郎長生家（建築物1）	
申込者：伊藤 貴広	勤務先：有限会社マルワ建工
添付書類（様式3）：耐震設計総括表 <u>1</u> 枚	（質疑応答書 <u> </u> ページ）
報告内容（レビュー担当委員：檜原健一） 清水次郎長生家の建築物1につき、査読を行った。 <ul style="list-style-type: none">・地盤について $G_s=1.5$ としていたが、第一種地盤なら $G_s=1.35$、第二種は 2.025、第三種は 2.70 である。J-SHIS マップによれば、微地形で砂州となっており液状化の恐れがある。GL-30m 平均の V_s が 300m/s 前後なので、G_s としては第二種地盤の 2.0 を採用すべき。→G_s を修正し再計算を行った。・安全限界（クライテリア）を 1/15 とする場合、小壁つきの柱が折損するか否かの検討が必要。→クライテリアを 1/20 と修正。・耐力係数が 0.6 を上回っているが、礎石建ちでは滑りの危険性があり耐力を 0.6 で頭打ちにする。・調査では壁にいろいろと飾りつけがあったり、棚が多く見られる。伝統的な構法では地震時に大きな揺れが発生するので、棚の転倒防止や壁掛け飾りの落下防止も補強時に検討されたい。 以上含めて修正版再提出資料を 1/18 に確認した。	

伝統構法に
対し

限界耐力計算法
を採用

耐震設計・耐震診断・改修設計のための現地調査チェックリスト 改修前
(新築の場合は構造概要を示す)

建築主/建物名称	清水次郎長生家 建築物 (1)	建築年	不明				
所在地	静岡県静岡市清水区美濃輪町 4-1-6	用途	店舗				
一般事項	構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造軸組構造 <input type="checkbox"/> 混合構造 (RC・SFR) <input type="checkbox"/> その他 ()					
確認申請書の有無	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (内容:)						
増改築・改修の有無	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (内容: 1814年安政の地震後、大改修実施)						
構造階高	1階 3.300 m						
基礎調査	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 近隣のデータあり						
不同沈下	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり⇒改修により沈下修正						
近隣の地盤状況	良好						
基礎・地盤	基礎	<input type="checkbox"/> 布基礎 (鉄筋コンクリート造・無筋コンクリート造) <input type="checkbox"/> べた基礎					
		<input checked="" type="checkbox"/> 玉石礎石 ⇒柱及び足間の新設により、一部礎石及び床石新設					
	基礎の状態	<input type="checkbox"/> コンクリート基礎の場合 <input type="checkbox"/> ひび割れ: <input checked="" type="checkbox"/> 礎石その他の場合 <input type="checkbox"/> 平座度・平滑度・遊り幅: 問題なしと判断					
柱・梁	柱部材の傷み、傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (内容: 一部腐朽・蟻害⇒取替え、傾斜⇒傾斜修正)					
	梁部材の傷み、傾み	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (内容: 一部腐朽・蟻害⇒取替え)					
	土台の損傷	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (内容:)					
	柱種	柱	セノキ (一部不明)	梁	マツ	土台	
	柱寸法	120 mm × 120 mm ~ 140 mm × 140 mm 大黒 140mm角					
	梁寸法	120 mm × 180 mm ~ 120 mm × 210 mm					
	柱の接合方法	<input checked="" type="checkbox"/> 短はぞ <input checked="" type="checkbox"/> 長はぞ <input type="checkbox"/> 肘木 <input type="checkbox"/> 斗拱 (参考)					
	梁の接合方法	<input type="checkbox"/> 短はぞ <input checked="" type="checkbox"/> 長はぞ <input type="checkbox"/> 貫 (参考)					
	接合部の金物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 軽薄 <input type="checkbox"/> 平江建具180号相当 (内容:)					
	接合部の状態	<input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 部分的に不良 <input type="checkbox"/> 不良 (内容:)					
楔・込み栓の組み	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (内容: 組み、はずれ⇒締め直し、新設)						
土台と基礎の接合	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (内容:)						
柱の引抜き防止	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 軽薄 <input type="checkbox"/> あり (内容:)						
土台がない場合 (礎石)	柱脚部 つなぎ	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (内容: 不足部分は足間新設)					
壁	構造壁の種類	<input type="checkbox"/> 蔦かい <input checked="" type="checkbox"/> 土壁 <input type="checkbox"/> 板壁 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	構造壁の仕様 (厚みなど)	既存竹小舞土壁を撤去し、乾式土壁 (両壁パネル) 取付					
	小壁の高さ	420 cm ~ 270 cm					
	壁壁の高さ	cm ~ cm					
	外壁の仕上げ	土壁の上に板張り、一部、トタン張⇒改修後は、乾式土壁の上に板張り					
	内壁の仕上げ	土壁シタケイ塗り、一部、土壁の上に板張り⇒改修後は、乾式土壁の上にシタケイ塗り					
	小壁・土壁の損傷	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (内容:)					
小壁・土壁の天井状況	天井裏: 一部天井で止まっている。⇒改修により梁上まで乾式土壁を取り付けることで改修						
床	火打ちの有無	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり					
	床板の接合状況	<input type="checkbox"/> 隙 (良・不良)					
	吹き抜けの有無	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (内容:)					
屋根	屋根仕様	<input checked="" type="checkbox"/> (葺き替えによって) 葺瓦葺: <input checked="" type="checkbox"/> (葺き替えによって) なし 瓦葺り葺 <input checked="" type="checkbox"/> なし (改修により改修)					
	葺き土	<input checked="" type="checkbox"/> (葺き替えによって) なし 瓦葺り葺 <input checked="" type="checkbox"/> なし (改修により改修)					
	屋根面の剛性	野地板の接合状況	<input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 ⇒改修時に野地板葺え				
	垂木の接合状況	<input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 ⇒改修時に取替え					
	屋根勾配・軒の出	屋根勾配	4.8寸勾配	軒の出	約 660 mm		
	隣接家屋との離間	開口方向	13m	奥行方向	4m以上		

現状

建物の現状が分かる図面および調査メモ

*詳細 (建物の特徴及び建物の劣化状況) については、別紙資料参照。

主出入口・土間



和室



外観



調り室



和室押入床



小壁組みの様子



確認事項	<input checked="" type="checkbox"/> 主要箇所の写真撮影	<input checked="" type="checkbox"/> 虫食い、水漏れ	<input type="checkbox"/> 特殊な荷重
	<input checked="" type="checkbox"/> 壁の位置	<input checked="" type="checkbox"/> 天井の仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> 小壁、壁壁の位置
	<input checked="" type="checkbox"/> 欄間付き小壁の位置	<input checked="" type="checkbox"/> 小壁面内の構造荷重	<input checked="" type="checkbox"/> 梁下部の天井ふところ余裕
	<input checked="" type="checkbox"/> 壁補強が可能な場所	<input checked="" type="checkbox"/> 床下のふところ余裕	<input type="checkbox"/> その他 ()
補修方法	<input checked="" type="checkbox"/> 腐朽した部材は取替える。 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の傾斜は耐震性能に直接影響するため修正する。		
留意事項	<input checked="" type="checkbox"/> 床下地盤面に湿気が感じられるため、腐朽・蟻害を防止するために、床下換気、調湿対策が必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 建物が隣家に衝突する恐れがあるため、衝突対策を検討する必要がある。		

評価後

木造軸組構法建物の限界耐力計算チェックリスト（1）-改修後

項目		チェック内容				
1. 概要	建物概要	建物名称	清水次郎長生家 建築物 (1)			
		建築主	新藤千恵子			
		設計者 (建築)	不明			
		設計者 (構造)	不明			
		建築用途	店舗			
		建築場所	静岡県静岡市清水区美濃輪町 4-1-6			
		工事種別	<input type="checkbox"/> 改修 <input checked="" type="checkbox"/> 改築 (主たる改修) <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 新築			
		建築時期	(旧) 不明	(新または改)		
		建築規模	建築面積	45.71 m ²		
			延床面積	45.71 m ²		
	規模		地下 0階、地上 1階			
	高さ		軒高 3.4 m、最高高さ 5.30 m程度			
	構造階高		3.3 m			
	地盤・基礎	基礎形式	<input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> べた基礎 <input type="checkbox"/> 独立基礎 <input checked="" type="checkbox"/> 礎石			
		地盤形式	<input type="checkbox"/> 軟地盤 <input checked="" type="checkbox"/> 別業地盤			
		設計用地耐力	kN/m ² (不明)			
		地盤調査	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (方法)			
	構造概要	小屋形形式	和小屋形式 (屋根下地) 野地板: 杉板12mm厚			
		構造材料	(旧) ヒノキ (改) マツ (他) 土壁			
		接合部	長ホゾ込柱打ち、一部短ホゾ			
柱脚部		玉石砕石、柱脚間は足固めで連結				
柱部材の大きさ		120mm×120mm 大黒140mm角				
梁部材の大きさ		120mm×180mm~120mm×270mm程度				
床版形式		板張り (畳下具) (床下地) 束立て・大引き				
仕上げ材の仕様	屋根	葺瓦葺き				
	外壁	土壁シッサイ塗り、一部、土壁の上に板張 *土壁: 筒壁パネル				
	内壁	土壁、一部、土壁の上に板張 *土壁: 筒壁パネル				
	床	畳敷き、板張り、土間				
2. 荷重	地盤用重量	建物全体	1階 117.38 kN	階 kN	延床 2.56 kN/m ²	
		階	(床用)	(架構造)	(地盤用)	
	単位積雪重量	20 kN/m ²				
	風圧力	建築基準法施行令第87条及び平12建告第145号 $P=Cf \cdot q \cdot A$ $q=0.4kN/m^2$				

木造建物の耐震設計総括表-改修後

		(検討種別)		新築	改修	改修	○
建物名称	建築物 (1)-改修後	所在地	静岡県静岡市清水区美濃輪町 4-1-6	(建築年) 不明			
建物階数	平屋	用途	店舗	構造	木造軸組工法		
延床面積	45.71m ²	建物重量	2.56kN/m ²	構造階高	H:3300mm		
形状図							
	<p>Y方向 (安全限界応答計算シート) $G_0=L/15$ (L: 6.0)</p> <p>X方向 (安全限界応答計算シート) $G_0=L/15$ (L: 6.0)</p>						
		X方向応答係数		安全限界時			
		耐力算数 C_d		0.465			
		減衰定数 β		0.15			
		1/30 以下					
		1/30~1/15		<input checked="" type="checkbox"/> (1/20)			
		1/15 以上					
		主たる耐震要素		2F			
				1F			
				乾式土壁・軸組補強			
		Y方向応答係数		安全限界時			
		耐力算数 C_d		0.564			
		減衰定数 β		0.14			
		1/30 以下					
		1/30~1/15		<input checked="" type="checkbox"/> (1/25)			
		1/15 以上					
		主たる耐震要素		1F			
				乾式土壁・軸組補強			
耐震設計 (改修) に関する特記事項							
基礎・地盤	L=30m平均の γ_s が 300kN/m ² 前後なので、 G_0 としては第二種地盤の G_0 に調整係数 (0.8) を乗じた数値 (4.2) を採用した。						
床組・横架材	現状は劣化しているが、改修により健全化されることを前提に診断。						
軸組の耐力	真、それぞれの耐力は無視。						
その他	現状については、資料が揃っていません。						
(設計者)	伊藤貴広		(レビュー担当)		(レビュー評価日)		

本評価書は、お手元の資料を御覧ください

次郎長生家の今後について

・見学会の実施

実際の工事現場での見学会ツアーを開催

・報告会・勉強会・ワーキング・グループの実施

伝統構法に対する耐震改修工事の勉強会などの意見交換

耐震改修のレポートや文化財登録などを
ホームページで公開するなど、
販促ツールとしての活用も



初めての方へ



ログイン



新規登録

JapanGiving > NPO活動を支援する > 「清水次郎長の生家を後世に残そう！」プロ...

ENGLISH

子ども

社会環境

コミュニティ

「清水次郎長の生家を後世に残そう！」プロジェクト



現在の寄付金額

¥2,900,500

🕒 締切まであと：61日

👤 現在の寄付人数：109人

実行委員

168社

ファンドレイザーは
この団体のために寄付集

👍 いいね！ 653

🔗 シェア

🐦 Tweet

G+1

📖 お気に入りに登録

📌 埋め込み

📌 目標の寄付金額は25,000,000円に設定されています。

2. 収支報告

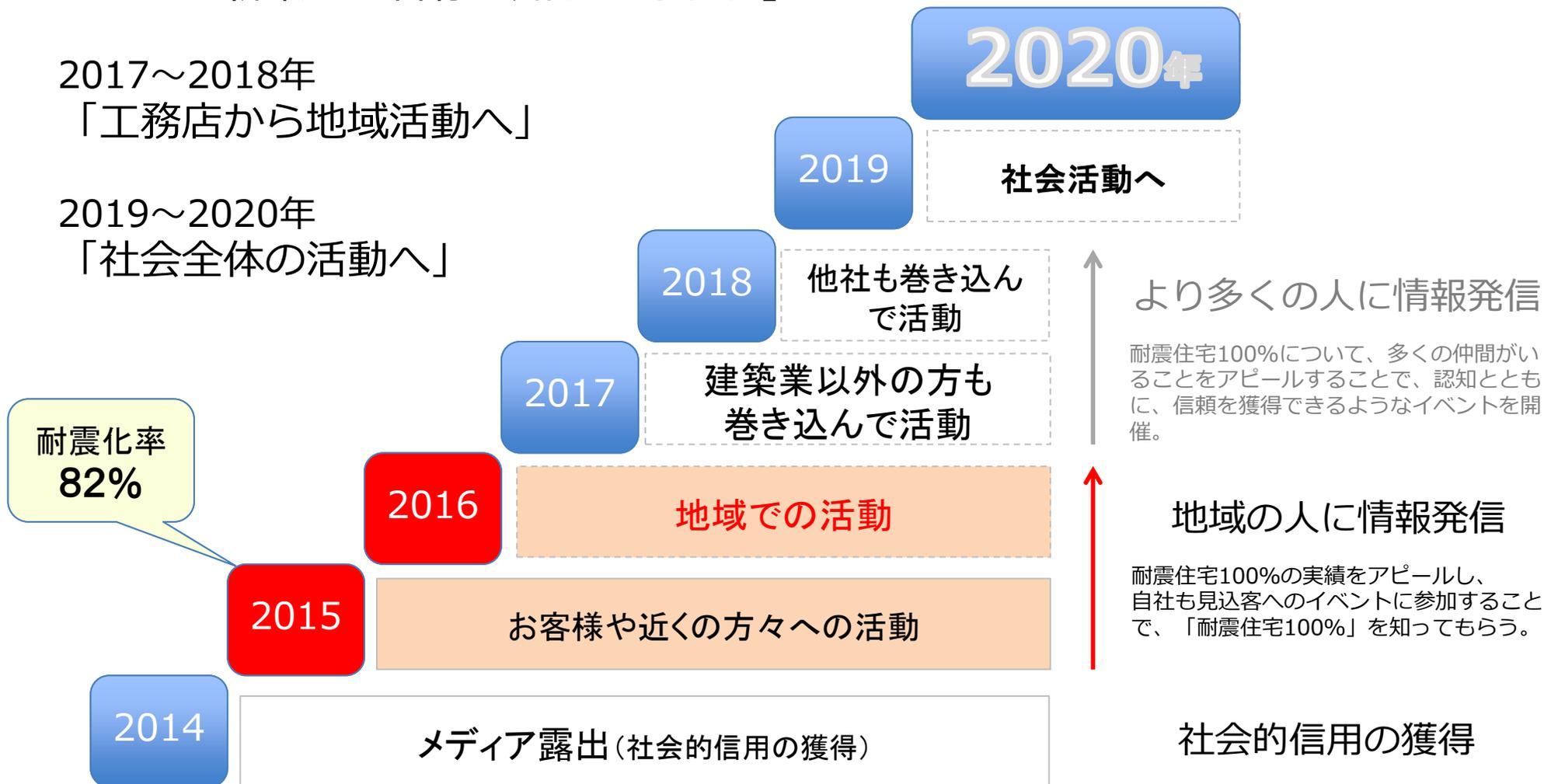
3. 法人化へのご提案

2020年までに100%にする道筋

2015～2016年は、
「OB・新築のお客様に知ってもらう」

2017～2018年
「工務店から地域活動へ」

2019～2020年
「社会全体の活動へ」



耐震住宅100% 法人化

この2年間の社会的な実績



継続して活動できる仕組みづくり「一
般社団法人」

2015



一般社団法人化する目的

1. 活動の透明性・継続性
2. 社会的信用・認知（プロモーション）
3. 営利目的企業では
参加しにくいプロジェクトの参加
4. 勉強会、研究会の開催
（寄付金などのボランティア活動など）

基本的な事業内容(案)としては、次のように考えています。

①耐震への認知活動

②耐震に関する調査・レポート

③行政・自治体との窓口事業

④他団体との研究会共催

⑤その他 社員教育、認定制度の発足など。

例えば、

これからの住宅に対する 国や行政などの補助金や助成金への参加

国土交通省

ホーム 国土交通省について 報道・広報 政策・法令・予算 オープンデータ

住宅

住宅・建築トップ 住宅行政トップ 建築行政トップ

ホーム > 政策・仕事 > 住宅・建築 > 住宅 > 住宅・建築物に関する補助事業の公募について

住宅・建築物に関する補助事業の公募について

住宅・建築物に関する補助事業の公募状況をご案内いたします。

補助対象事業を行う方の公募

各補助事業が対象とする事業を行うおとの方の公募状況は、以下のとおりです。

平成28年7月12日 平成28年度 住宅瑕疵にかかる保険事故情報等を収集・分析・活用するための住宅瑕疵にかかる保険事故情報等を収集・分析・活用するための仕組みの
(公募期間：H28. 7. 12～H28. 8. 12)

平成28年6月28日 平成28年度 住み替え等円滑化推進事業
住み替え等円滑化推進事業の公示
(公募期間：H28. 6. 28～H28. 7. 29)

平成28年6月16日 マンション管理適正化・再生推進事業（マンションの新たな維持管理適正化・再
(公募期間：H28. 6. 16～H28. 7. 29)

平成28年6月15日 平成28年度 住宅建築技術高度化・展開推進事業
（うち住宅整備制度構築に資する技術の提供、住宅整備プロジェクトに対す
(公募期間：H28. 6. 15～H28. 7. 1)

住み替え等円滑化推進事業についての公示

平成28年6月

国土交通省住宅局長 由

次のとおり、住み替え等円滑化推進事業について公示する。

1. 事業概要

(1) 事業名

住み替え等円滑化推進事業

(2) 事業目的

売却、賃貸、リバースモーゲージ等の住宅の資金化や安心な住まい先の確保
った住宅資産の活用について相談できる体制を整備する事業及び住宅資産
について助言する専門家を育成する事業について公募を行い、優れた事業

例えば、

1社では難しかった 自治体や有識者とのイベントやセミナー

平成28年度 「住宅の耐震セミナー」の開催について ～熊本地震を教訓とした大地震に備えた住宅の耐震化～

本年4月に発生した「平成28年熊本地震」では、震度7の地震が連続して発生するなど、13万棟を超える建物が被害（H28. 6. 7時点）を受けており、また、多くの方が家屋の倒壊によりお亡くなりになっております。

道内においても、いつどこで発生してもおかしくない地震に備え、このたびの熊本地震の教訓を踏まえて、大規模な地震による住宅の倒壊から生命や財産を守るため、北海道では「住宅の耐震化」の必要性や効果について考えていただく機会として、全道各地でセミナーを開催します。

なお、札幌市以外の開催につきましては、詳細が決まり次第お知らせします。



例えば、

レジリエンス協議会や自治体などの 研究会やワーキング・グループへの参加



ワーキンググループ (WG) 情報一覧

ワーキンググループ (WG) では、国土強靱化 (ナショナル・レジリエンス) を推進するにあたって、さまざまな新しい制度や施策、仕組み作りなどを検討していきます。

WG開催情報は [>>こちら](#)

1. レジリエンス性を確保した住宅のあり方検討総合WG

(座長：村上周三先生)

1. レジリエンス性を確保した住宅のあり方検討総合WG
(座長：村上周三先生)

委員会 (委員長：村上周三先生)
リストWG (主査：清家剛先生)
ンシング及び常時モニタリングWG」 (座長：三田彰先生)
状況調査・対策の手引書作成WG」 (座長：眞島正人先生)

金融商品開発・普及促進WG

2. 住宅レジリエンス促進のための新金融商品開発・普及促進WG

(座長：大垣尚司先生)

3. VtoXの活用を視野に入れた強靱なスマートコミュニティのあり方検討総合WG
(座長：柏木孝夫先生)

一般社団法人を設立するために

一般社団法人を設立するためには、

- ①発起人2名以上（理事、監事、会計監査人等）
- ②出資金はなし
- ③非営利法人として登録
（収益事業以外には税制優遇がある）

まずは、NCNで事務局を行います。

これからのスケジュール(案)

2016年10月

一般社団法人設立準備委員会を開催。

(代表・理事選出、定款の作成など)

2017年1月17日(案)

一般社団法人耐震住宅100%実行委員会設立、発起人会

2017年から

研究会や勉強会、イベントなどを開催

設立準備委員会で検討すること

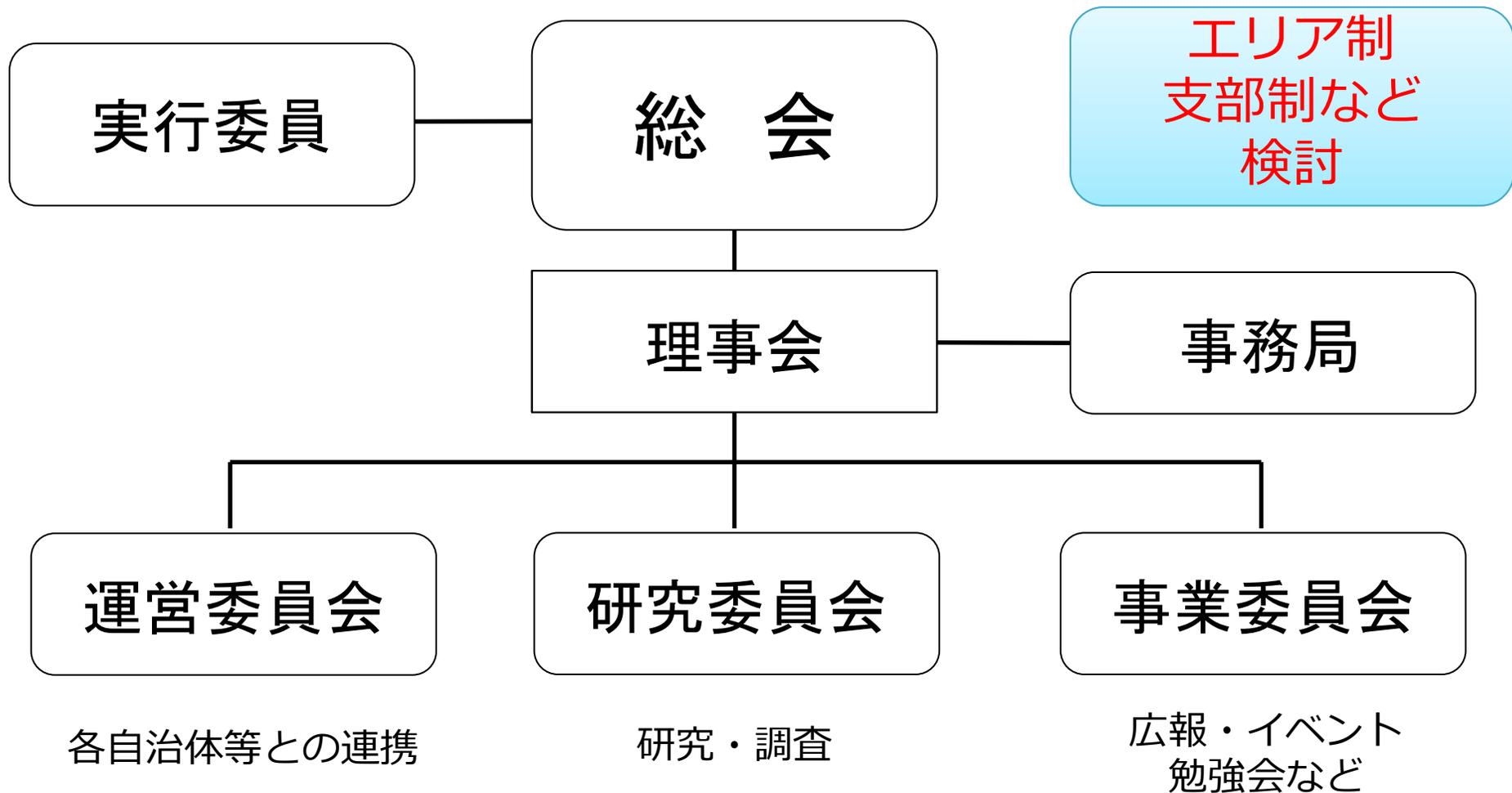
「耐震住宅100%」会員制度

		年会費
正会員A	目的に賛同して入会いただいたSE構法登録施工店	10万円
正会員B	目的に賛同して入会した建築資材メーカー等	10万円

「耐震住宅100%」会員資格

	正会員A	正会員B
SE構法登録施工店であること	○	×
耐震等級3相当の耐震住宅を提供する	○	×
本活動に積極的に参加すること	○	○
「耐震住宅100%」のロゴを設置	○	○
企業で、Facebookを開設している	○	○

一般的な社団法人の組織図(参考)



一般社団法人化することで
実行委員の方、すべてが社員となります。

一般社団法人耐震住宅100%実行委員会を

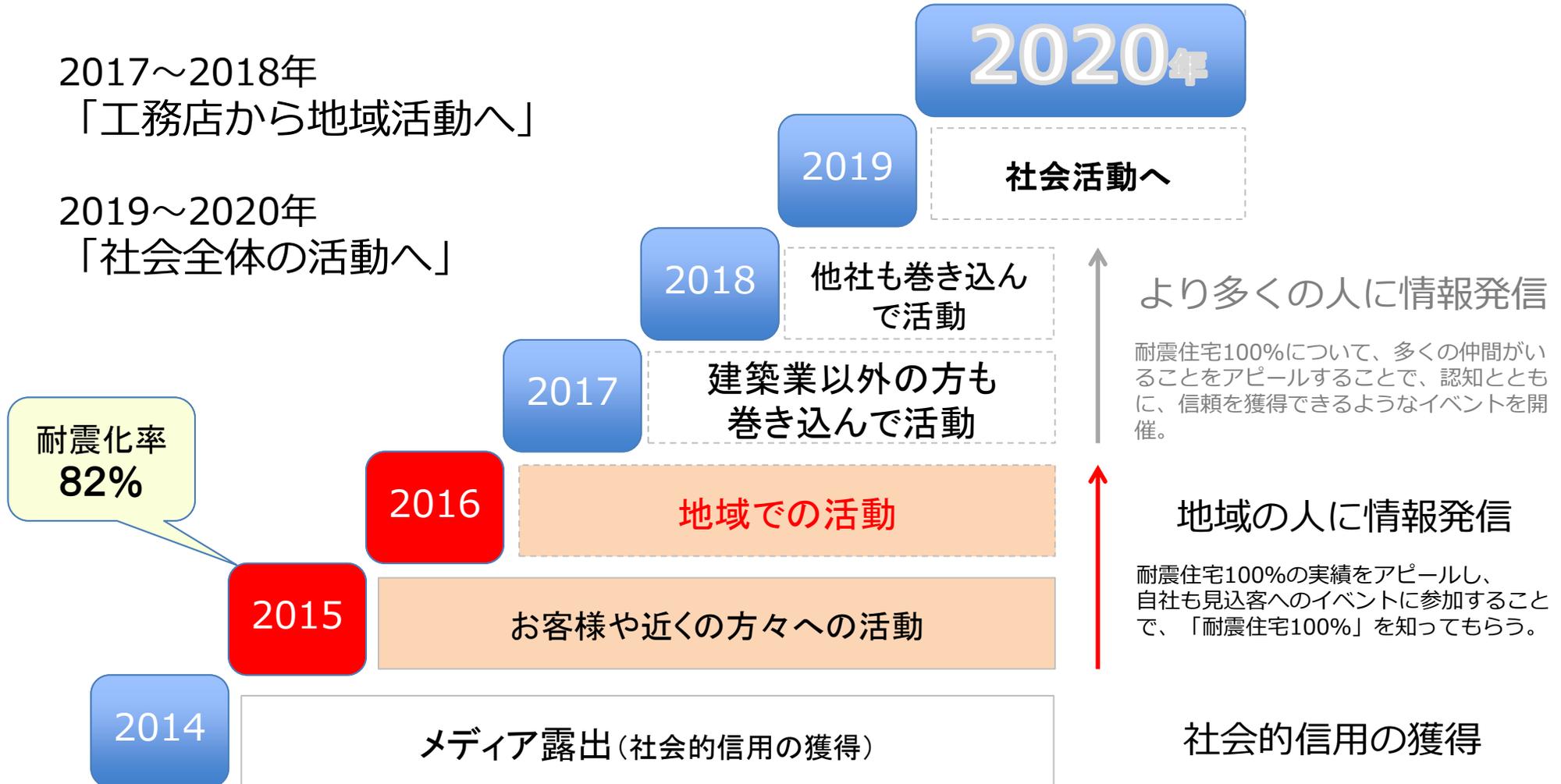
皆様と一緒に継続できる仕組みに

2020年までに100%にする道筋

2015～2016年は、
「OB・新築のお客様に知ってもらう」

2017～2018年
「工務店から地域活動へ」

2019～2020年
「社会全体の活動へ」



日本の
家を
一〇〇%
耐震に。